



ゆりのきっ子

宇城市立松橋小学校
学校だより 第4号
令和7年7月1日
文責 岡村 誠也

【校訓】かしこく（賢）なかよく（優）すこやかに（健）

【教育目標】「夢」実現のために「学び合い・支え合い・高め合う」児童の育成

【教育スローガン】幸せあふれる未来へ～夢いっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱい～



笑顔いっぱい！心の絆を深める月間

～いじめを許さない学校・学級づくりを目指して～



先日、「学校が楽しいか」「友達からいやなことを言われたりされたりしたことはあるか」「友達がいやなことを言われたりされたりしているのを見たことはあるか」などの“学校生活についてのアンケート”を実施しました。それを基に、各学級で教育相談を行いました。いじめは、どの子供にもどの学校にも起こりうることです。けれども、いじめは人権侵害であり、人として絶対に許される行為ではありません。子供たちにはしていいことと、しては良くないことをしっかり考え、判断し、行動して欲しいと願っています。どんな細かいことでも子供のサインを見逃さず、早期発見・早期解決を目指していきたいと考えています。そのためには、保護者の皆様と連携していくことが必要です。御家庭でも、何かお気付きがあれば学校に御相談ください。

修学旅行でたくさんの学びがありました！



5月30日（金）、31日（土）の一泊二日で長崎方面に修学旅行に行ってきました。

出発する前は心配していた雨も降ることなく、長崎に着き、昼食後にはフィールドワークを行いました。さるくガイドさんの話を真剣に聞きながら、原爆落下中心地、浦上天主堂、永井隆記念館、山里小学校等を回りました。戦争や原爆の恐ろしさ、愚かさ、平和の大切さを、自分の目で見て、耳で聞いて、心で感じた貴重な体験でした。その後、原爆資料館を見学し、追悼記念館で平和集会を行いました。子供たちには、黙とうをし、平和の誓いを行い、自分たちで心をこめて作った千羽鶴をささげたことは、一生忘れないでほしいと思います。確実に平和のバトンを受け取ってくれたことをうれしく、また、頼もしく感じました。

ホテルやどの見学場所でも立派な態度で、楽しむときには楽しみながら、さすが、松橋小学校の6年生だと感心しました。卒業まであと9か月。学んだことを今後にしっかりと生かし、松橋小の最高の最高学年として、最後まで立派にリードしてくれることと期待しています。

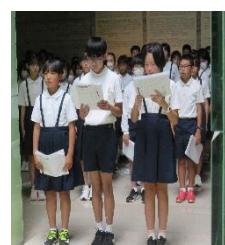
同級生と過ごした一泊二日の修学旅行は、きっと子供たちの一生の思い出となったことでしょう。



真剣に学んだフィールドワーク



原爆資料館を熱心に見学



追悼記念館での
厳肅な平和集会



ホテルでの楽しい食事

失敗は成功の基？

最近教員のなり手不足が社会問題となっています。また、採用されたとしても初任1年目の途中でも辞めてしまう先生が熊本県でも毎年数人ずつ出ている現状です。辞めるのはそれぞれの事情があるのですが、全体的に共通して自分が感じていたことは、「心が折れるのが早くなっているのでは？」ということです。初任者ですからもちろん全てうまくいくなんてことはありません。失敗を繰り返しながら教師として成長していくのですが、その失敗からなかなか立ち直れず自信を無くして辞める現状があるようです。若い先生方には「挫折経験」が少ないのかもしれません。親は誰でも子供には苦労や苦しいことはさせたくないと考えるのが普通だと思います。ただ、小中学校の発達段階においては、「失敗」や「挫折」を経験することは決して無駄な事ではないと思います。失敗から立ち直る強さや失敗した経験を次に生かすことが長い人生の中で大切なことを保護者の方も理解されていると思います。松橋小の児童には、様々なことに積極的にチャレンジして、たくましく成長してくれることを期待しています。